

福島第二原発も重大事故

原子炉の圧力 逃す準備

原子力安全・保安院は12日、福島第二原発（福島県楡葉町、富岡町）についても、原子炉格納容器内の圧力を逃すための準備作業に入るとの連絡を東京電力より受けたと明らかにした。

東京電力によると、福島第二原子力発電所の1、2、4号機で圧力抑制室の温度が100度を超え、原子炉の圧力を抑えることができなくなった。このため原子炉内に水を補給して対処している。

同社は第一原発に続き、第二原発でも原子力災害対策特別措置法に基づく重大な事故と判断し、政府に報告した。水位は保たれ、発電所周辺の放射線モニターは通常と変わらない、という。